学校便り「戸町っ子」No.３１

「失敗から学ぶ「折り合い」のつけ方」

先日、図書の時間に人気の本を巡ってじゃんけんになり、「後出しだ。」「加われなかった。」と言い合いになる場面があったようです。こうした日常のトラブルは、子供たちにとって大切な成長の機会です。

学校は多様な友達と過ごす「小さな社会」です。自分の思い通りにいかないときに、相手の言い分を聞きながら「折り合い」をつける経験を通して、本校が目指す「ちがいを認め合う力」や「共生力」が育まれます。

ここで大切なのが大人の関わり方です。本校では２学期の重点取組として「教師は伴走者」を掲げています。大人がすぐに解決策を与えるのではなく、子供たち自身に「どうすればみんなが納得できるかな？」と考えさせ、自ら解決するプロセスを見守ります。トラブルや失敗も学びのチャンスと捉える「学校は間違うところ」の視点を大切に寄り添ってまいります。

学校教育目標である「自ら考え、ちがいをみとめる戸町っ子」の育成に向け、ご家庭でも「どうすればよかったと思う？」とお子様の思いに耳を傾け、自分で乗り越える姿をともに見守っていただければ幸いです。

校長　原口　徹弥